

授業科目名 <英訳>	地理学(講読) Geography (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 助教 山崎 岳					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	火2	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	中国語講読										
【授業の概要・目的】											
中国は日本と深い関わりを持つ隣国である。物質面・精神面を問わず、日本の歴史的文化的文化について、中国の存在を抜きにして語ることはできない。ただし、両国の間には文化的・社会的に様々な相違があるのも事実である。この授業では、近現代中国の歴史・社会に関する中国語の論説・新聞記事などをテキストとして講読する。原文から中国人の思考を読みとることによって、学生の中国語読解能力を養うとともに、中国社会に対する理解を深め、さらなる探求への手引きを提供する。											
【到達目標】											
受講者は、現代中国語をより正しく読解・翻訳・発音することができるようになる。また近現代の中国社会、および関連文献について一定の情報と理解を得る。											
【授業計画と内容】											
初回には授業の説明を行い、講読テキストを配布する。第二回以降、出席者には順番にテキストを音読・日本語訳してもらう形式で授業を進める。速読よりは、音読と翻訳の正確さを重視する。出席者は事前に翻訳を準備するだけでなく、音読の練習を積んで授業に臨むことが求められる。											
【履修要件】											
現代中国語の発音表記であるピンイン、および基本的な文法事項は習得済みであること。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
年度末に筆記試験を行う。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学習(予習・復習)等】											
テキストをあらかじめ日本語訳し、音読の練習を積んでおくこと。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											